

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：腎疾患診療短期マスターコース

病院名： 千葉東病院

2. 診療科：(専門領域)：内科（腎臓内科）

3. コースの概要

腎疾患診療の全体を俯瞰し学ぶことで、腎臓内科医が存在しない病院においても腎疾患患者への適切な対処ができるよう人材を育成する。

4. 目標

各地域・各病院で慢性腎臓病重症化予防の対策を講じ末期腎不全患者の患者数を減らす役割を担うとともに、腎専門医への適確な紹介を推進し地域の腎疾患医療に貢献できる人材を育成する。

5. 取得手技

腎生検法

血液透析

腹膜透析

内シャント作成（希望に応じて）

腹膜透析カテーテル留置術（希望に応じて）

6. 研修期間：6 カ月

7. 募集人数：1 名

8. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
ネフローゼ症候群	20
急速進行性糸球体腎炎	10
腎生検症例	成人 130 例 (小児、外科合わせ 330 例)
血液透析導入	60
腹膜透析導入	12

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 7名

主として研修指導にあたる責任医師 今澤 俊之（経験年数 31 年）

10. コンセプト

当院は腎疾患医療に特に力を入れており、かつ多くの診療実績を有する全国でも特徴のある病院である。成人の腎疾患だけでなく小児腎も充実しており、年間両科併せて 200 以上ある腎生検症例については週 1 回の病理カンファを通じ目にする事ができる。また腎疾患重症化予防のための教育入院など新たな取り組みを行っている。血液透析はもちろん、腹膜透析も 50 例以上あり、当院では全ての腎代替療法を高レベルで実践しており、各々の特徴も知ることができる。腎疾患医療の全体をこの研修期間に俯瞰し、学び、実践することで、「腎疾患は解りにくい」という、アレルギーを取り去って欲しい。

11. その他（研修関連情報など）

症例検討会・教育プログラム（週一回）

腎生検病理カンファレンス（内科・小児科合同）（週一回）

透析カンファレンス（週 1 回）